

2018年 年頭のごあいさつ

日に新た

新年おめでとうございます。

昨年の11月19日に初雪を見た我が村でしたが、まさか根雪になるとは予想外のことでありました。例年とは違った気候は地球温暖化の影響ではないかともいわれ、今後も十分な注意が必要であると感じております。村では現在「雪害警戒部」を設置し、村の方々の生活に支障を来さないような対策にしっかりと取り組んでおるところであります。

さて、私たちを取り巻く社会情勢はめまぐるしく変化しております。

新聞などの報道によれば、国際展望としては「緊張高まる北東アジア、中東」が大きな課題として考えられるようであり、国内展望としては

「地方創生」が最も重要な視点として取り上げられ、その行方が注目されているようであります。

地方創生が大きな政策として取り上げられたのは、4年前の2014年で急激に進む人口減に伴う「地方消滅」が提言され、その危機感に対する施策としての地方創生の重要性が一気に重要課題となりました。その後、政策の名称が変遷したものの基本は変わりなく推進されております。

そうした社会情勢の中であって、我が村においてはどんな課題があり、展望されるのでしょうか。

まずは、成瀬ダム事業が国の2018年度予算成立と同時にいよいよ本体着工となる見込みで、建設工事による動きが激しくなるものと考えられます。この工事は、ダム仕様が変更され新しい工法に